

令和5年

壱岐市議会定例会12月会議

# 行政報告

壱岐市

# 目 次

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| <b>1. はじめに</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・  | 1  |
| （1）長崎県への要望書の提出について               | 3  |
| （2）第4次壱岐市総合計画について                | 4  |
| （3）まちづくり協議会の推進について               | 4  |
| （4）第15回エコマテリアル国際会議の開催について        | 5  |
| （5）壱岐市特別職報酬等審議会について              | 6  |
| <b>2. 交流人口の拡大</b>                |    |
| （1）観光振興について                      | 7  |
| <b>3. 産業の振興</b>                  |    |
| （1）農業の振興について                     | 9  |
| （2）水産業の振興について                    | 10 |
| <b>4. 市民</b>                     |    |
| （1）権利擁護に係る中核機関の設置について            | 11 |
| （2）クリーンセンターの火災復旧工事について           | 12 |
| <b>5. 教育</b>                     |    |
| （1）第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭について | 13 |
| <b>6. 防災、消防・救急</b>               |    |
| （1）防災対策について                      | 13 |
| （2）消防・救急について                     | 14 |
| <b>7. 議案説明</b>                   |    |
| （1）補正予算について                      | 15 |
| （2）その他の議案について                    | 15 |
| <b>8. おわりに</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・  | 16 |

# 行政報告

令和5年壱岐市議会定例会12月会議

## 1. はじめに

本日ここに、令和5年壱岐市議会定例会12月会議にあたり、9月会議以降、本日までの市政の重要事項、及び今回補正予算に計上した主な内容等についてご報告申し上げ、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

はじめに、令和5年秋の褒章において、長年、保護司として尽力されている みのだ なおみ 蓑田 直美 様が、更生保護功績として藍綬褒章を受章され、元壱岐市消防司令の くぼら かずひで 久原 和秀 様が、第41回危険業務従事者叙勲として瑞宝単光章を、本市の壱岐ウルトラマラソンの開催に対し、多額の企業版ふるさと納税によるご寄附を賜りました株式会社ファウンテック様（代表取締役社長 まんだに ただし 万谷 正 様）が、紺綬褒章を受章されました。

また、あきしののみやこうし 秋篠宮皇嗣殿下が総裁であられる公益社団法人大日本農会の農事功績者として、長年、施設アスパラガス専作経営をされている このみ ともひと 許斐 誠仁 様が緑白綬有功章を受章され、長年、行政相談委員として尽力されている ほりえ ひろすみ 堀江 宏澄 様が行政相談功労として総務大臣表彰を、元・壱岐「島の科学」研究会会長 やまうち まさし 山内 正志 様が離島振興70周年記念功労者として国土交通大臣表彰を受賞され、壱岐市長並びに元・全国離島振興協議会会長として総合的な離島振興への取組を評価いただき、不肖、私、白川 博一 が同じく国土交通大臣表彰の栄に浴しました。

さらに、消防・防災功勞として元壱岐市消防団副団長の<sup>ひらた いさむ</sup>平田 勇 様が県民表彰を受賞され、ながさき農林業大賞においては、本市から農産部門で 農事組合法人勝本 様が長崎県知事賞を、同じくながさき水産業大賞において、魅力ある漁村づくり部門で 壱岐市磯焼け対策協議会 様が長崎県漁業協同組合連合会長賞を受賞されました。

また、玄海酒造株式会社取締役会長<sup>やまうち けんめい</sup>山内 賢明 様が、一般財団法人日本食生活文化財団が食生活文化に関する優れた業績ある方に贈る食生活文化賞を受賞されました。

この度、叙勲、褒章並びに表彰をお受けになった皆様に対し、今日まで築かれたご功績に、深甚なる敬意を表しますとともに、心からお慶び申し上げます。

次に、教育委員会所管の壱岐文化ホールで、金庫に保管していたつり銭用の現金20,000円の紛失が判明しました。

事案の経過としては、11月24日午後5時40分頃、当該施設職員が施設利用料を両替しようとした際、金庫に保管していたつり銭20,000円が保管袋ごと紛失していることを確認し、11月25日から26日にかけて執務室内及び施設内を捜索するとともに、職員及び関係者への聞き取り調査を実施いたしましたが、発見できないため、11月27日に壱岐警察署へ通報、翌28日に被害届を提出し、現在、壱岐警察署で捜査が行われている状況にあります。

今後、壱岐警察署の捜査状況を踏まえ厳正に対処してまいります。

この度、このような事態を招いたことをお詫びいたしますとともに、再発防止に努めてまいります。

## (1) 長崎県への要望書の提出について

去る10月11日に、長崎県並びに長崎県議会へ、壱岐市・壱岐市議会連名の単独要望を行いました。大石知事をはじめ幹部職員、そして県議会では、徳永<sup>とくなが たつや</sup>達也議長にご対応いただいたところであり、本市からは、鵜瀬和博県議会議員にもご同席いただき、10項目の要望書を小金丸議長とともに提出いたしました。

本年度の要望のうち、昨年度と同じく、重点要望項目として、「空港の整備等について」、「再生可能エネルギーの導入促進に向けた支援について」及び「磯焼け対策に関する支援の拡充について」の3項目についてご説明申し上げます。

大石知事からは、磯焼け対策に関する支援の拡充について、壱岐市磯焼け対策協議会を中心とする取組の成果を評価いただき、県は水産多面的機能発揮対策事業等で、植食性動物の駆除から処分までの取組を支援しているところであり、国の予算も減少傾向と大変厳しい状況の中、引き続き予算の確保に努めていきたい旨のご回答をいただきました。

また、ブルーカーボンクレジット申請に対する支援・協力についても、本市の積極的な取組を評価いただき、県としても磯焼け対策に非常に有効な取組だと考えており、藻場に関する情報の提供等、支援、協力をしたい旨の回答をいただいたところでもあります。本取組は水産業を中心とした産業振興はもとより、観光・商工業の振興やブルーカーボンによる地球温暖化対策等、SDGsの取組に寄与することから、国・県の支援のもと、今後も積極的に推進してまいります。

## **(2) 第4次壱岐市総合計画について**

総合計画は、市政の基本方針として、本市の「まちづくり」の方向性を示す最上位に位置づけられる計画であり、現行の「第3次壱岐市総合計画」では、SDGsの理念を踏まえた「誰一人取り残さない協働のまちづくり。」を基本理念として掲げ、総合的かつ計画的に各種施策に取り組んでいるところであります。現計画の期間が令和2年度から令和6年度までの5年間となっていることから、この度、次期計画の策定に着手したところであります。

今回策定する「第4次壱岐市総合計画」では、少子高齢化による人口減少対策はもとより、新たな感染症や大規模災害等の脅威、物価高騰に伴う市民生活及び事業者への影響等、社会情勢の大きな変化及び多様化する市民ニーズを総合的に踏まえ、本市が進むべき将来ビジョンを明らかにし、そのビジョンを達成すべく、今後5年間の具体的な施策を示す計画として策定いたします。

去る10月23日に第1回壱岐市総合計画審議会を開催し、策定方針についてお示ししたところであり、本年度中に計画骨子案の策定を行うこととしております。計画の策定に当たっては、アンケート調査、パブリックコメント等の実施により、市民皆様の多様なご意見を反映させるとともに、今後も必要に応じて、審議会を開催し、様々な分野の関係者及び公募委員から幅広いご意見を伺いながら、策定に向けて進めてまいります。

## **(3) まちづくり協議会の推進について**

地域が抱える課題への対応をはじめ、市民皆様が主体となったま

ちづくりの実現に向けて進めている、まちづくり協議会について、去る10月1日に芦辺地区まちづくり協議会が新たに設立され、全18校区中15地域での設立となりました。

また、盈科、石田の2地域で幹事会が立ち上げられ、まちづくり協議会の設立に向けた準備が進められておりますので、より一層の取組を進めてまいります。

#### **(4) 第15回エコマテリアル国際会議の開催について**

去る11月27日から29日にかけて、本市出身で環境に調和した物質・材料の利用技術開発等で多大な功績をあげられている はらだ こうめい 原田 幸明 氏が会長を務められるエコマテリアル・フォーラム主催の第15回エコマテリアル国際会議が、壱岐の島ホールを主会場に開催されました。

エコマテリアルとは、環境に配慮した循環型社会の技術開発により、例えば、ごみから作ったエコセメントや石油を使わないバイオプラスチックなど、資源から廃棄まで環境への影響を低減することに配慮し、末永く使えるように工夫された高性能な材料と定義されております。本国際会議は、エコマテリアルの研究開発に関わる研究者・技術者、NPO法人、企業等が一堂に会して、これらの取組等を議論する場として、国内外から約60名の参加を得て開催されたところであります。

本国際会議には、2019年に本市が発出した国内自治体初の「気候非常事態宣言」に関し、多大なお力添えをいただいた やまもと りょういち 山本 良一 東京大学名誉教授の講演をはじめ、将来の環境問題解決に向けた研究や議論が展開されました。今回本市での開催となりましたのは、

本市がこれまで取り組んできた<sup>アールイー</sup> R E 水素実証事業及び藻場再生の取組をはじめ脱炭素の島づくりの成果でもあります。

本国際会議を契機に、改めて再生可能エネルギー 100%の島の実現に邁進してまいります。

### **(5) 壱岐市特別職報酬等審議会について**

本市では、議会議員等の議員報酬の額並びに市長、副市長及び教育長の給与の額に関することについて審議するため、壱岐市特別職報酬等審議会を設置しております。この開催時期については、市議会から4年に1度の市議会議員改選の時期に併せて開催を希望する旨の要望をいただいております。前回、令和3年度の議員改選以降、開催の時期等について検討を重ねてまいりました。皆様ご承知のとおり、令和3年度から4年度にかけては新型コロナウイルス感染症が依然として猛威を振るっている時期であり、社会情勢が見通せない中で審議会を開催することは時期尚早であるとの判断から、市議会とも協議の上、開催を見送ってきたところであります。

この度、本年5月8日には新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、国内経済も活発化しており、社会情勢の変化も一定の落ち着きを見せていること、また、本市の議会議員並びに市長等の報酬額が合併間もない平成17年度以降、約19年間改定がなされていないこと等を踏まえ、審議会を開催することといたしました。

今後、市内の公共的団体等の代表者並びに市民代表の方々に構成される審議会に諮問し、来年の早い段階で答申をいただく予定としております。

## 2. 交流人口の拡大

### (1) 観光振興について

本市における観光客数を推計する上で参考となる九州郵船とオリエンタルエアブリッジの本年4月から10月までの乗降客数は、385,814人、対前年比120.7パーセントでありました。コロナ禍からの観光需要の回復とともに、繁忙期の夏場に台風の影響が少なかったことが好調の要因であると考えております。

去る10月12日、大型客船「にっぽん丸」が本市へ寄港し、約240名の方々が来島されました。本ツアーは、愛媛県新居浜港を出発して、本市のみに寄港するツアーで、新居浜港出港時には、ゆるキャラの人面石くんが船に乗り込み、壱岐をPRしたところであり、郷ノ浦港新岸壁到着後は7コースに分かれて各所を巡られ、お客様アンケートにおいても、壱岐での満足度は非常に高かったとの報告をいただいております。

今回のように本市のみに寄港するツアーは、特に経済効果が高いものであり、企画していただいたJR四国様に心から御礼申し上げますとともに、長崎県と連携してさらなる大型客船の誘致に向けて積極的に取り組んでまいります。

去る10月21日に開催した「壱岐市市制施行20周年記念 神々の島 壱岐ウルトラマラソン2023」は、多くの市民皆様のご協力をいただき、大きな事故等もなく、盛会に終了することができました。

大会当日は爽やかな秋晴れで例年より若干気温が低いという絶好

のコンディションのもと、出走者数678名、完走者数551名、完走率81.3%と、これまでにない素晴らしい結果となり、特に100kmの部では、優勝したランナーと2位とのタイム差が僅か4秒という好レースでありました。

1,000名を超えるボランティアスタッフの皆様をはじめ、沿道からのあたたかい声援やコース周辺の交通規制等、円滑な大会運営にご協力をいただいた市民皆様、協賛及び支援をいただいた企業等及び各種団体の皆様など、今大会を支えていただいた全ての皆様に心から感謝申し上げます。

スポーツ合宿については来年1月に、元旦に行われる全日本実業団対抗駅伝競争大会（ニューイヤー駅伝）へ初出場を果たす「富士山の銘水長距離陸上競技部」が、本市で初となる合宿を行われる予定であります。また、2月には、ニューイヤー駅伝に32年連続34回目の出場となる本市出身の <sup>はまだ せいじ</sup>濱田 征司 監督率いる「YKK陸上長距離部」と、来年の第100回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）本戦に2年ぶり2回目の出場となる「駿河台大学駅伝部」が、3月には、去る11月26日に開催された第43回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会（クイーンズ駅伝）に7年連続14回目出場の「スターツ陸上競技部」が、本市での合宿を行われる予定であります。これまでの誘致活動の成果を実感するとともに、スポーツ合宿が地域活性化に繋がっているものと捉えております。

### 3. 産業の振興

#### (1) 農業の振興について

本年度の水稻の作柄は、田植期以降、日照不足で穂数が減少したものの、出穂期以降は天候に恵まれ、長崎県全体では10アール当たり予想数量は480kg、作況指数99に対し、壱岐市においては、10アール当たり496kg、作況指数98の発表がなされました。等級成績は、早期米については、「コシヒカリ」が2等でありましたが、高温耐性のある「つや姫」、「にこまる」、「なつほのか」はほとんどが1等となりました。

また、本年度は宮中献穀事業に取り組んでおり、去る11月30日に長崎県知事へ宮中献穀記念米の贈呈を行いました。贈呈に併せて、県庁内食堂にて壱岐市で生産された「つや姫」の提供などを行い、長崎県産米の消費拡大に向けたPRを行ってまいりました。

葉たばこについては移植期以降、6月下旬から7月中旬にかけて強風雨と日照不足により、一部の圃場で立枯病等に見舞われましたが、平均収量は252kgとなり、目標収量の250kgを確保できております。11月7日から9日にかけて行われた葉たばこ販売では、1kg当たりの代金は2,073円、10アール当たり代金は52万2千円でありました。

畜産業については、JA壱岐市肥育牛の販売実績は、10月の枝肉単価が2,153円で前年同月比260円安と低迷し、子牛価格も下落している中、昨今の燃料・肥料・飼料単価の高騰の影響を受け、農業経営を圧迫する厳しい状況になっております。

そのため国の子牛価格の下落対応として、販売頭数に応じて、子牛の平均価格と、和子牛生産者臨時経営支援事業発動基準価格である60万円との差額の4分の3が支援され、第3四半期においては、肉用子牛生産者補給金と合わせて、8万2千円交付されることになっております。

また、農業者並びに関係機関が一堂に会し、肉用牛の危機的状況を突破するため、去る11月18日に壱岐島開発総合センターで、肉用牛経営危機突破決起大会が開催されました。

このような中、12月1日、2日に開催された子牛市では、平均価格が10月市と比較し、1頭当たり約6万8千円高の平均5万5千6百円で、上向きの取引となっております。

## **(2) 水産業の振興について**

本年4月から10月までの本市の漁獲量及び漁獲高を昨年同期と比較しますと、漁獲量は13.8%減の1,163トン、漁獲高は0.4%減の15億6千7百万円と漁獲量、漁獲高ともに減少しております。5月から6月にかけて大型マグロが約70トン漁獲されましたが、特にイカ類の漁獲が減少しており、他の魚類の不漁も影響しております。魚価は少しずつコロナ禍前に戻りつつありますが、今後、東京電力福島第一原子力発電所処理水放出に係る影響も少なからず考えられます。漁業者の経営維持は依然として厳しい状況にあり、このような状況を踏まえ、漁業用燃油対策事業等を実施し、漁業者の経営維持・存続を支援しております。

次に、本年度の長崎県並びに長崎県議会への要望項目中、クロマ

グロの漁獲制限については、沿岸漁業の漁獲枠の拡大・撤廃、資源管理に伴う減収補填措置の充実、放流支援の充実等、国への働きかけを要望し、併せて、磯焼け対策についても植食性動物の駆除等に関する支援の拡充等を要望したところであります。

依然として、本市水産業は大変厳しい状況が続いておりますが、今後も引き続き漁業者の皆様そして各漁協をはじめ関係機関と連携を図り、水産振興に積極的に取り組んでまいります。

## 4. 市民

### (1) 権利擁護に係る中核機関の設置について

国では、認知症高齢者や知的障害・精神障害のある方で判断能力が十分でない方の権利擁護に関する普及啓発をはじめ、成年後見制度の利用促進及び地域連携を推進するため、権利侵害の予防・解消に取り組む中核機関の設置を義務付けており、本市では本年11月1日に中核機関を開設し、業務については後見センター壱岐を運営している壱岐市社会福祉協議会へ委託しております。

令和7年には、国内における認知症の方が約700万人となる見込みであり、本市においては、介護保険認定を受けている方で認知症自立度Ⅱ以上の方は本年3月末時点で1,158人となっております。これに伴い、全国的に成年後見制度利用者数も年々増加傾向にあり、本市における権利擁護利用者数は本年9月末時点で87件、うち成年後見制度利用者数は30件であり、今後も増加する見込みであります。

認知症は誰でもかかる可能性のある身近な病気でありますので、関係機関と連携を図り、一人ひとりの権利が守られる仕組みを構築していくとともに、中核機関がその機能を十分に発揮するためには、まずは、成年後見制度について市民皆様の理解が最も重要でありますので、広報紙、チラシの回覧及び市民向け講座等により周知を図り、成年後見制度の利用が促進されるよう取り組んでまいります。

## **(2) クリーンセンターの火災復旧工事について**

昨年6月14日に発生した壱岐市クリーンセンターのマテリアルリサイクル推進施設内の火災については、部品の製造や機器の調達に時間を必要とすることから、令和5年度の繰越し事業としていましたが、本年10月に必要な機器の調達を終え、工事を実施しており、年内には試験運転及び完了検査を行い、通常業務に戻る予定であります。また、施設の被災のために破砕処理ができなかった不燃物については施設敷地内に保管しており、通常業務に支障が生じない範囲で処理していく計画としております。

市としましては、今後このような事故が起こらないよう、発火する危険性のある電池等の分別の徹底を改めて市民皆様に周知するとともに、クリーンセンターの職員に対しても、受け入れた爆発性や引火性のある廃棄物の分別の徹底を指示し、年2回の消防訓練を実施するなど、これまで以上の安全管理と技術力の向上により、再発防止に努めてまいります。

## 5. 教育

### (1) 第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭について

全国的な文化の祭典である国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭が、令和7年秋に「ながさきピース文化祭2025」として長崎県全域での事業展開を予定されており、本市においても、壱岐市大会として実施する予定であります。

令和7年は、「原の辻遺跡」が国特別史跡指定25周年、また、郷土の偉人である「まつなが やすざえもん松永 安左エ門翁」の生誕150年を迎えます。こうした節目の年に、両文化祭の開催を契機としまして、「文化で市民が繋がる心豊かな壱岐市」をめざし、壱岐市全体を一つの会場と捉えて、本市の魅力を大いに発信していく機会とするため、去る10月13日に、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭壱岐市実行委員会設立総会を開催し、各種事業の展開のための検討を始めたところであります。

今後、市内関係機関・関係団体の皆様と連携しながら、壱岐の魅力ある文化の大会となるよう進めてまいります。

## 6. 防災、消防・救急

### (1) 防災対策について

去る11月5日に、勝本町勝本港一帯において、令和5年度壱岐市防災訓練を、関係機関33組織約300名の参加協力により実施いたしました。訓練は、壱岐市で震度6強の地震が発生して甚大な

被害が発生したと想定し、大がかりで実践的な内容により実施したところであります。

去る11月16日には、渡良浦港浮き桟橋及び周辺海上一帯において、令和5年度フェリーみしま救難訓練を、壱岐海上保安署、壱岐警察署、郷ノ浦町漁業協同組合のご協力のもと、車両甲板から火災が発生したと想定し、通報、救助活動、消火活動等、一連の訓練を実施したところであります。

また、去る11月17日、県主催による長崎県原子力安全連絡会が開催され、県、市、九州電力、各関係機関の代表21名が出席し、玄海原子力発電所に関する防災対策について、情報の共有及び意見交換を行ったところであり、来年2月には、長崎県及び本市を含めた県内4市と関係機関合同による長崎県原子力防災訓練を実施いたします。訓練内容等詳細については現在調整中ですが、玄海原子力発電所での放射能漏れ事故を想定し、情報収集伝達訓練、災害対策本部設置・運営訓練、緊急時モニタリング訓練、原子力災害医療訓練、住民避難・誘導並びに広報訓練等、実践的な訓練の実施を予定しております。

今後とも、関係機関と十分連携を図り防災対策に取り組んでまいりますので、市民皆様におかれましては、日頃の備え、さらには自主防災組織での取組など、自助、共助に努めていただきますようお願いいたします。

## **(2) 消防・救急について**

国において、カーボンニュートラルに向けたEV（電気自動車）

普及に付随する急速充電設備における基準の見直しをはじめとした省令が公布されたことに伴い、今回、壱岐市火災予防条例の一部改正について、議案を提出しております。

これから年末年始にかけ、火気を取り扱う機会が増え、空気が乾燥し、火災が発生しやすい時期となりますので、市民皆様には、火の取扱いに十分ご注意くださいようお願いいたします。

## 7. 議案説明

次に、議案関係についてご説明いたします。

### (1) 補正予算について

本議会に提出した令和5年度補正予算の概要は、

一般会計補正額 1億6,274万5千円

各特別会計の補正総額 5,580万2千円

となり、本定例会に提出いたしました一般会計、各特別会計の補正額の合計は、

2億1,854万7千円

となります。なお、現計予算と合算した本年度の一般会計予算は、

250億7,920万4千円

で、特別会計については、

85億9,003万6千円

となっております。

### (2) その他の議案について

本日提出いたしました案件の概要は、損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告1件、条例の制定・一部改正に係る案件10件、公の施設の指定管理者の指定に係る案件7件、予算案件7件であります。

何とぞ慎重にご審議をいただき、適正なるご決定を賜りますようお願い申し上げます。

## 8. おわりに

以上をもちまして、9月会議以降の市政の重要事項また政策等について申し述べましたが、様々な行政課題に対し、今後も誠心誠意、全力で取り組んでまいり所存でありますので、議員各位並びに市民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年12月6日

壱岐市長 白川博一